かのやのホットな話題をお届け！

サイクリスト受け入れます！

２月28日、鹿屋市サイクリストサポート施設の運用開始に伴い、登録第１号店の「東京屋菓子店」に自転車用品が貸与されました。これはサイクリストが気軽に立ち寄れる場所の提供を目的としたもので、市内に25か所設置。この日はCIEL BLEU KANOYAの富尾大地選手と白川幸希選手が同店を訪れ、サイクルスタンドや空気入れ、自転車工具などを手渡しました。

新入学児の交通安全を願って

３月10日、鹿児島県トラック協会の関係者が市役所を訪れ、小学校の新入学児童に向けて交通安全教材を寄贈しました。これは同協会が昭和61年度から行っているもので、今年は新１年生1,052人に対して道路標識が掲載された定規を贈呈。同協会の福永寿一理事は「トラックのドライバーも安全運転を心掛けているが、子どもたちにも交通安全に気を付けてもらいたい」と話しました。

犠牲者を悼む祈りのハーモニー

３月11日、リナシティかのやで「第11回ストリートピアノでつなぐ祈りのハーモニー」が開催されました。これは、東日本大震災の犠牲者の鎮魂のために実施しているもので、合唱前には新調されたストリートピアノをお披露目。参加者は地震発生の午後２時46分に黙とうを捧げた後、童謡「ふるさと」や復興支援ソング「花は咲く」を被災地に届くよう心を込めて合唱しました。

観光名所に新たな土産品が完成！

３月５日、荒平天神で菅原地域づくり協議会が新たに開発した土産品の祈祷が行われました。土産品は、菅原地区の活性化のために、学問の神様である菅原道真公にあやかり開発した御朱印と合格鉛筆。同会の上薗勝己会長は「御朱印と合格鉛筆がきっかけで観光人口が増えればうれしい」と話しました。この御朱印と合格鉛筆はユクサおおすみ海の学校で販売されています。

市内を回り火災注意を呼び掛け

３月１日、春季全国火災予防運動の初日に合わせて、市街地周辺で防火パレードが行われました。地域住民に火災予防の関心と理解を深めてもらうことを目的に行われたこのパレードには総勢14台の消防車両等が参加し、２グループに分かれて実施。あいにくの空模様となりましたが、赤バイや救助工作車など迫力ある車両が市街地を巡行し、防災を呼び掛けていました。

芸歴40年の記念公演は笑いと共に

３月13日、市文化会館で「桂竹丸 落語 語りの世界」の公演が行われました。これは本市出身である竹丸師匠の芸歴40年を記念して実施されたイベント。公演ではゲストの春風亭昇太師匠とのトークショーに始まり、ベテランの技が光る寄席が行われ、終始会場は来場者の笑顔と笑い声に包まれました。また公演前には竹丸師匠から市内小・中学校へ落語「ホタルの母」が収録されたCDが寄贈されました。

日頃の練習の成果見事な演奏を披露

３月12日、石田ビル（西大手町）の屋上で「サニーガーデンフェス」が開催されました。これは地域運営組織「かのや中央四心会」がまちなかのにぎわいづくりのために開催したもの。この日は子どもたちのバンドグループやウクレレ、大正琴の演奏のほか、かのやカンパチロウと子どもたちによるカンパチダンスも披露され、参加者は日頃の練習の成果を十分に発揮し会場を盛り上げました。

市内事業者がオンラインで語り合う

３月10日、市産業支援センターを拠点とした「オンライン異業種交流会」が実施されました。これは、コロナ禍により少なくなった事業者間の交流機会を増やすために企画されたもの。市内事業者５社が市内食材を使用したコラボ商品開発や６次産業化などの事例を紹介した後、参加した事業者による新商品開発の提案や商品に関する質疑など、業種の枠を超え活発な意見交換が行われました。

避難所等で活躍段ボール個室寄贈

３月10日、鹿屋第一ライオンズクラブからオストメイト用段ボール個室５セットが寄贈されました。これは、病気などによりお腹に排泄用の『ストーマ（人工肛門・人工膀胱）』を装着したオストメイトの人々が避難所等でも使用できる仮設トイレ。同クラブの久留尚幸委員長は「災害はいつ起こるか分からないが、安全安心な鹿屋のためにこれからも様々な形で貢献したい」と想いを語りました。

吾平山陵公園の夜桜を演出

３月13日、吾平山陵公園で美里吾平コミュニティ協議会おやじの会による桜のライト設置作業が行われました。これは同会が２年前から取り組むボランティア活動で、桜の名所である吾平山陵公園の夜桜も楽しんでもらい、少しでも町が元気になるように企画したもの。18日から始まったライトアップでは、多くの人が闇夜に浮かび上がる幻想的な桜を楽しんでいました。

出会いを楽しむアウトドア体験

３月13日、ユクサおおすみ海の学校で「OUTDOOR Meeting 2022 Spring」が開催されました。これはアウトドアをコンセプトに男女の出会いの場を提供するイベントで、昨年に続き今回が２回目。焼き芋づくりやペアづくりのためのレクリエーションなど新たな催しも取り入れられ、開放的なロケーションのもと、参加者は新たな出会いを楽しんでいました。